土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川　江の川水系　高猿川　通常砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.2	調査位置	広島県安芸高田市吉田町多治比	北緯	34° 40' 50.2968"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 1月 8日～ 令和4年 1月11日	東経	132° 40' 52.6978"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 271.40m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	47° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1C-58 / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	270.40	1.00		粘土混じり砂		暗褐			上部は木根を混入する 細～中砂の砂を主体とする 径3cm以下の礫を少量混入する			13	1.15	5	4	4	13/300							
2	269.40	2.00		玉石・礫混じり砂		淡褐灰	rd3		径5cm以下の礫を30～50%混入する 中～粗砂の砂を主体とする GL-1.60～2.00m間は転石状				1.45											1/8
	269.40	2.60		花崗岩		淡褐灰			花崗岩の強風化部，DL級岩盤 風化作用が進行し撹乱すると土砂化する			26	2.15	6	8	12	26/300							
3	268.80	3.70		花崗岩		黄褐			花崗岩の風化部，DH級岩盤 径3cm以下の礫状コアで採取するがハンマー軽打で砕ける 亀裂沿いは土砂～細粒土を挟む				2.45											
4	267.70	6.00		花崗岩		黄褐			CL級岩盤 径5cm以下の礫状～岩片状コアで採取される 亀裂沿いに土砂を挟む 部分的に土砂～細礫化する GL-5.20m付近よりコア肌はやや滑らかとなり径8cm以下の岩片状主体となるが亀裂沿いに土砂を挟む			50以上	3.10	50			50/50	50						
5													3.15											
6	265.40					暗黄褐																		1/11
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								